

■ 情報発信の検討

1. 情報発信の目的

町田市文化プログラムでは市民による企画提案など市民参画の促進を図ることが重要であり、そのための周知に向けた情報発信のあり方についての検討が求められます。

2. 現在の取り組み状況

市公式HP内の「文化芸術情報」カテゴリのなかで、町田市文化プログラムの概要および推進計画について公表するとともに、今年度の取り組みについても掲載しています。

The screenshot shows the official website of Machida City. The main content area is titled "町田市文化プログラム" (Machida City Cultural Program). The text describes the program's goals for 2020, including the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games, and mentions the establishment of a steering committee. It also lists various cultural activities and events. The sidebar on the right contains links to "申請書一覧" (List of Applications), "施設一覧" (List of Facilities), "施設予約" (Facility Reservations), and "便利メモ" (Convenient Memo). The bottom of the page features a "関連情報" (Related Information) section with a link to "オリンピック・パラリンピック関連" (Olympic and Paralympic Related).

3. 情報発信（案）

現在の取り組みを基本としながらも、下記のような発信内容、発信方法により、効率的かつ効果的な情報発信が考えられます。

（1）発信内容（案）

①町田市文化プログラム

幅広い展開の促進をめざし、文化団体や市民に向けた認知向上を図ります。

- a. 町田市文化プログラム推進計画
- b. 進捗状況
- c. 町田市モデル事業（※テーマ等が決まり次第公表）

②認証制度

情報提供を行い、認証制度の活用促進を図ります。

a. 東京 2020 参画プログラム

- 概要や申請方法等に関する情報を掲載する。
詳細については組織委員会のHPへの誘導を図る。
参照URL：<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/certification/event/>

認定された事業やプログラムは、実施予定として「分野」「事業名」「内容」「開催期間」「開催場所」が公表されるほか、実施後には実績として蓄積される。

b. beyond2020 プログラム

- 概要や申請方法、申請送付先等に関する情報を掲載する。
詳細については、beyond2020 プログラム事務局のHPへの誘導を図る。
参照URL：http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/beyond2020/effort/

認定された各取り組みの「事業名」「分野」「開催期間」「開催場所」「主催団体」「主な参加対象者」「参加料の有無」「参加予定人数」「概要」「URL」「問い合わせ先」が掲載され、地域または開催年月で検索することができる。

(2) 発信方法 (案)

① 既存の情報発信媒体

- a. 市HP
- b. 市広報紙「広報まちだ」
- c. 町田市広報TV「まちテレ」
- d. ラジオ広報番組「東京町田インフォメーション」

* 上記のcとdについては、番組製作など別途検討が必要となります。

② 新規の情報発信媒体等

進捗状況など情報の更新性を考慮すると、インターネットの活用が求められます。

- a. ソーシャル・ネットワーキング・サービス^{※1}(Facebook、Twitter等)
- b. その他(『まちだ自慢』サポーターとの連携等)

※1 ソーシャル・ネットワーキング・サービス：個人間の交流を促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネット・サービスのこと。

【展開例】

① ソーシャル・ネットワーキング・サービスによる迅速な情報発信

FacebookやTwitterで公式アカウントを開設し、迅速な情報発信を行います。開催中のプログラムなどについて速やかに情報を発信することにより、町田市文化プログラムへの機運醸成や参加促進をめざします。

② 『まちだ自慢』サポーターによる親しみある情報の発信

『まちだ自慢』事業との連携により、市民目線の親しみある情報発信を行います。『まちだ自慢』公式WEBサイトへの情報掲載など、町田市文化プログラムの取り組みを町田市の魅力の一つとして発信することをめざします。

◇参考資料 [他市の取り組み]

自治体	特徴的な取り組み
栃木県	<p>○文化情報に特化した既存サイトの活用</p> <p>県内の文化財等をテーマごとに紹介する特設サイト「とちぎ いにしへの回廊」のほか、多言語化や同県の子ども向けサイトの活用など、ターゲットに応じた情報提供を検討している。</p>
墨田区	<p>○文化芸術に特化した特設サイトの設置</p> <p>区内で行われる文化芸術活動に特化した情報を発信する「すみだ文化芸術情報サイト」を設置している。イベントや事業の紹介のみならず、さまざまな活動に携わる個人や団体のネットワーク構築をめざしている。</p>
府中市	<p>○市HPのホーム上のスライドショーを活用</p> <p>ホーム画面上のスライドショーでオリンピック・パラリンピック関連情報への誘導を行っている。</p>
羽村市	<p>○広報紙にオリ・パラ関連コーナーを開設</p> <p>2017年度から「広報はむら」の紙面に「オリ・パラ通信」と題したコーナーを設置し、市の取り組み方針など参画プログラムも含めたオリンピック・パラリンピック関連情報を掲載している。</p>
横浜市	<p>○SNSの活用による海外への情報発信</p> <p>同市ではオリンピック・パラリンピックを契機に、海外での認知度向上を図るため、スマートフォン用アプリ「Instagram」によるプロモーションを展開している。</p> <p>なお、画像や動画の調達や投稿コメントへの返信など、アカウントの運用は外部委託としている。</p>
新潟市	<p>○専門スタッフによる情報発信</p> <p>東京 2020 大会に向けた文化プログラムを契機に、同市がめざす文化創造都市の推進体制構築を図るため、(公財)新潟市芸術文化振興財団事務局内に、「アーツカウンシル新潟」を設置した(平成 28 年 9 月)。同事業では文化芸術活動支援のほか、文化施策に関する調査・研究や情報発信、施策提言等に向けた企画・立案を行う専門スタッフ(プログラムオフィサー)を配置し、レガシーの構築に向けた具体的な取り組みを展開する。</p> <p>なお、アーツカウンシル新潟公式HPのほか、SNSを活用した情報発信を展開している。</p>
京都府	<p>○ポータルサイトの設置</p> <p>京都府及び京都市、京都商工会議所では、東京 2020 大会を契機に、京都から世界に向けて多彩な文化・芸術を発信するとともに、国内外の人々との交流・協働により新たな創造の潮流を起こすことをめざす「京都文化力プロジェクト」を展開しており、その一環として、国内外に向けた情報発信のためのポータルサイトを開設・運用している。</p>